

平成23年度 第2回 医学教育企画室会議

議 事 要 旨

日 時：平成23年6月6日（月） 10：30～11：50

場 所：附属病院3階 地域医療部カンファレンス室

出席者：室 長 石田 肇
室 員 青木 一雄 大屋 祐輔 山岡 章浩
加藤 誠也 小宮 一郎 武村 克哉
平田 哲生 崎原 永作 比嘉学務課長代理

欠席者：室 員 栗田 久多佳 宮田 裕史

列席者：事 務 医学教育企画室 比嘉みさき係員
具志堅教務係長 黒木教務係員
地域医療部 瑞慶覧事務員

審議事項

1. M4学生離島地域病院実習について

石田室長から資料1に基づき、離島地域病院実習の参加者は100名で、不参加者は5名との説明があった。

また、山岡室員から、すでに終了した1班へのバイタルサイン実習について、順調に行われ、身だしなみについても学生同士で確認し合う様子等の報告があった。

2. 1年次臨床教育・実習(教育連絡主任対応)について

小宮委員から、資料2に基づき、今後の取り組みとして、まずは教育連絡主任を対象にPBL・TBLの方略についてFDを行うことや、PBL研究会の活動の様子をDVDで紹介する等を検討しているとの説明があった。

また、現行の「救急車同乗実習」について、実習後にレポート作成のみとなっているため、「外来患者付添い実習」等も含めて、事後学習が十分ではない実習に対して、今回のPBLに関連づけ、フォローアップしていくことも良いのではとの意見があり、新規として小宮委員が中心に実施するPBL講義と併せて、検討していくこととなった。

その他、加藤委員から、教育連絡主任の本来の役割と、実際にPBL等のチューターを担当する教員とは分けて考えた方が、教育連絡主任の負担や誤解がないだろうとの意見があった。

3. 教育連絡主任会議の意見・感想について

石田室長から、資料3に基づき、各教育連絡主任の意見を参考にし、会議を定期的に関く必要があるとの説明があった。

4. FD開催について

石田室長から、資料4について、昨年度は1回のみ開催となっており、今年度は取り組みを強化していきたいとの説明があった。

山岡委員から、1年次倫理教育に関するFDについて、8月頃で調整（予算：地域医療寄附講座）しており、大屋委員から、ハワイ大学式PBLのセミナーについては、9月で調整（予算：専門研修センター）しているとの説明があった。

その他、FDによる外部講師を招聘する予算を確保することが課題であり、間接経費や、地域医療に分担されている経費から支出できるかどうか検討していくこととなった。

5. 医学教育学会への学生参加について

山岡委員から、資料5に基づき、3月に実施された「第一回地域医療を学ぶための学生セミナー2011 in おきなわ」に関する報告を、発表者として地域医療研究会から学生2名が行い、旅費等については地域医療寄附講座から支出し、指導については地域医療部にて行っていく旨の説明があった。また、武村委員から予行について、7月19日の琉球医学会にて発表する案もあり、検討していく旨の説明があった。

6. 学生学習サポート事業について

石田室長から、資料6に基づき、採択された旨の報告があった。

報告事項

1. 平成23年度中期計画実現経費申請について

小宮委員から、資料7に基づき、昨年度の実施内容を参考に申請している旨の説明があった。

2. 琉球大学医学教育企画室設置要項について

石田室長から、資料8に基づき、設置要項が一部改正されたことについての報告があった。

3. 「第一回地域医療を学ぶための学生セミナー2011 in おきなわ」報告書について

武村委員から、報告書の回覧について説明があり、外部への送付についても検討しているとの報告があった。